



2022年11月14日

各 位

会 社 名 片倉コープアグリ株式会社

代表者名 代表取締役社長 小林 武雄

(コード番号 4031 東証スタンダード市場)

問合せ先 取締役執行役員経本部長 杉本 真

(TEL. 03-5216-6611)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月16日に公表した2023年3月期連結業績予想及び期末配当予想の修正を行うことになり、また2023年3月期個別業績予想と前年実績値との間に重要な差異が生じることになりましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 2023年3月期通期 業績予想

(1) 連結業績予想の修正

2023年3月期通期連結業績予想数値 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想(A)	46,500	1,400	1,400	900	100円48銭
今回修正予想(B)	52,900	2,500	2,600	1,600	178円61銭
増減額(B-A)	6,400	1,100	1,200	700	—
増減率(%)	13.8	78.6	85.7	77.8	—
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	38,960	1,123	1,207	1,022	114円23銭

(2) 個別業績予想の前期実績との差異

2023年3月期通期個別業績予想数値 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期 純利益
前期実績 2022年3月期(A)	35,761	983	1,110	990	110円58銭
今回予想(B)	49,100	2,400	2,500	1,600	178円61銭
増減額(B-A)	13,338	1,416	1,389	609	—
増減率(%)	37.3	144.1	125.1	61.6	—

(3) 連結業績予想の修正及び前期実績との差異が生じた理由

今回の修正見通しの前提として、肥料価格におきましては、6月以降の肥料価格値上がり、及び値上がりを見越した昨年以上の駆け込み需要が発生しました。さらに、11月以降も肥料価格は値上がりとなることから、更なる駆け込み需要の発生が予想されます。

また、昨年から続く特異的な原料情勢のなかでも、国内トップクラスの肥料メーカーとして安定供給を果たすべく、在庫リスクがあるものの常時一定量の原料及び製品在庫を確保し、値上がりを見越した駆け込み需要等にも対応して参りました。このような中、肥料事業は原価に占める原材料費の割合が高いことから、原料価格が大きく上昇あるいは下落する期間においては、安定供給のため保有している原料及び製品在庫が損益に大きく影響を与えます。

このような上記動向を勘案し、連結業績予想につきましては、原料価格高騰に伴う肥料価格値上がり、及び値上がりを見越した昨年以上の駆け込み需要が見込まれることから、売上高は52,900百万円となる見通しであります。また利益面につきましては、駆け込み需要に加え、肥料価格値上がりに伴う在庫益等により、営業利益2,500百万円、経常利益2,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,600百万円となる見通しであります。

また、個別業績予想につきましても、同様の理由から売上高、営業利益以下の利益項目において前期実績を上回る見通しであります。

2. 期末配当予想の修正

(1) 期末配当予想修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2022年5月16日発表)		50円00銭	50円00銭
今回修正予想		89円00銭	89円00銭
(ご参考) 前期 (2022年3月期) 実績		57円00銭	57円00銭

(2) 期末配当予想修正の理由

当社グループは、株主に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、安定的かつ継続的に業績に見合った成果の配当を行うことを基本とし、引き続き配当性向50%を目標としております。

当期の期末配当につきましては、1株あたり50円を予定しておりましたが、通期の連結業績予想を上方修正することを勘案し、1株あたり89円とさせていただきます。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上